

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 榎の会	代表者	富樫 和茂
事業所名	小規模多機能型居宅介護 芳賀のうさぎ	管理者	富樫 和茂
法人・事業所の 特徴		『人を癒し人と繋がる』地域社会への貢献、そして自己実現を法人理念に掲げ運営を行 っております。エッセンシャルワーカーとしての品位・高い倫理観を養い、ご利用者様 に適切で心のこもったサービスを提供し、地域社会に必要とされる施設であり続けるこ とができるよう取り組みんでおります。	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	人	1人	人	2人	人	4人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・3か月に1回、改善計画に対しての評価をフロア管理者と実施し目標達成度を確認していく。	高齢者虐待防止について力を入れ利用者には『親切』『優しく』『丁寧』を掲げ事業所全体で取り組みを強化した。その結果、職員一人一人の接遇マナーや不適切ケアに対する意識が高まり、利用者や家族が安心できる施設運営を行うことができたと言える。	良くできている	更に充実できるように取り組みを継続する
B. 事業所の しつらえ・環境	・感染拡大を防止し、面会や外出・見学を積極的にこなす。 ・利用者や家族に施設の取り組みや雰囲気積極的に紹介し安心して頂けるよう努める。	・感染症防止委員会と災害対策委員会(感染症 BCP)の協同で施設内研修を実施。感染症の初動対応の訓練を行い、日頃の衛生管理に努めた結果、感染症に対しての意識も高まり、クラスターを発生することなく経過した。 ・(感染対策時除く)可能な限り、本人と家族の要望に沿えるよう面会や外出等の制限は行わず安心してできる環境を提供することができた。	良くできている	更に充実できるように取り組みを継続する

C. 事業所と地域の かかわり	・慰問ボランティア等をお呼びし、地域と触れ合える機会を作って行く。	慰問ボランティアをお呼びしたり、職場体験を通し地域住民と関わる機会を増やして行くことが出来た。また地域住民の介護相談や介護保険等の手続き代行を行うなど、地域とのかかわりを意識し積極的に取り組むことができた。	良くできている	更に充実できるように取り組みを継続する
D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・慰問ボランティア等をお呼びし、地域と触れ合える機会を作って行く。	利用者が今まで築いてきた人間関係や地域とのつながりに関しては介護サービスの利用をきっかけに途絶えてしまうケースが多いが、家族の協力により支援できている。	良くできている	更に充実できるように取り組みを継続する
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・市町村や包括支援センターと連携を深めサービス向上につなげていく。	運営推進会議では個別の問題事例や困りごとの相談を積極的に行うことができた。実際に成年後見制度を活用することができた。	良くできている	更に充実できるように取り組みを継続する
F. 事業所の 防災・災害対策	・訓練を通し平常時から準備、検討しておくべきことについて整理していく。	災害対策委員会を設置し、年2回の火災時非難訓練、シェイクアウト訓練を実施している。また、業務継続訓練の指針を定め計画的に研修と訓練を実施し防災意識を高め平常時から準備と点検を行っている。	良くできている	更に充実できるように取り組みを継続する